＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	和らぎの家・岡山
グループの名称	和らぎの家・岡山推進協議会
直近採択グループ番号	06-0776-0624

（グループ代表者）

代表者名	濱本　陽次　代表者印
代表者所属先	株式会社倉敷山商
代表者所在地	岡山県倉敷市四十瀬118番地の1
代表者電話番号	086-422-4039

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社倉敷山商
事務局担当者名	小林　雅尚　印
事務局郵便番号	710-0835
事務局所在地	岡山県倉敷市四十瀬118番地の1
事務局電話番号	086-422-4039
事務局FAX	086-422-4600
事務局担当者E-mail	kobayashi.k-ymsho@housedepot.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	和らぎの家・岡山
２．グループの名称(必須)	和らぎの家・岡山推進協議会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0776-0624
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	岡山県
５．結成年(必須)	2017　年
６．グループ代表者名(必須)	濱本　陽次
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社倉敷山商
８．グループ代表者所在地(必須)	岡山県倉敷市四十瀬118番地の1
９．グループ代表者電話番号(必須)	086-422-4039
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社倉敷山商
１１．グループ事務局担当者名(必須)	小林　雅尚
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	710-0835
１３．グループ事務局所在地(必須)	岡山県倉敷市四十瀬118番地の1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	086-422-4039
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	086-422-4600
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kobayashi.k-ymsho@housedepot.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	4	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	8	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	7	
Ⅳ．プレカット	4	
Ⅴ．設計	1	
Ⅵ．施工	7	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	岡山県産材	岡山県	おかやまの木の家づくり推進事業	0	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	2	棟	
			200	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟	
				㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	先着順としたい。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）							
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）							
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）							
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）							
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸
	優良建築物型							
	採択棟数	1	棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	戸
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
33	Ⅰ － 1	岡山県森林組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2丁目5番地10号	086-222-7671
34	Ⅰ － 2	ひろしま木材事業共同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3ー1ー1	0823-71-7141
33	Ⅰ － 3	真庭木材市売株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾1	0867-42-0602
33	Ⅰ － 4	株式会社津山綜合木材市場		708-0011	岡山県津山市上田邑2800	0868-28-7777
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
33	Ⅱ － 5	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22－1	0686-28-2111
33	Ⅱ － 8	小林製材株式会社		719-3111	岡山県真庭市開田341	0867-52-1171
33	Ⅱ － 9	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209	0867-44-2695
34	Ⅱ － 10	東亜林業株式会社		729-0105	広島県福山市南松永町3丁目2番20号	084-933-5150
33	Ⅱ － 11	株式会社鈴鹿製材所		709-3717	岡山県久米郡美咲町原田1926	0868-66-0161
33	Ⅱ － 22	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218	0867-42-1100
34	Ⅱ － 23	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3－1－1	0823-71-7141
33	Ⅱ － 26	鳥越工業株式会社		719-3224	岡山県真庭市目木1813－1	0867-42-0613
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
33	Ⅲ － 7	株式会社倉敷山商		710-0835	岡山県倉敷市四十瀬118番地一1	086-422-4039
33	Ⅲ － 12	株式会社ヤマホン		706-0001	岡山県玉野市田井3丁目20－28	0863-31-1166
33	Ⅲ － 13	山佐産業株式会社		700-0942	岡山県岡山市南区豊成3丁目15番25号	086-265-7667
33	Ⅲ － 14	株式会社岡山木材相互市場		701-0221	岡山県岡山市南区藤田560番地	086-296-0306
13	Ⅲ － 15	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1丁目7番22号	03-5534-3711
34	Ⅲ － 23	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3－1－1	0823-71-7141
33	Ⅲ － 24	岡山扇木材株式会社		701-4276	岡山県瀬戸内市長船町服部274-4	086-942-8200
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
33	Ⅳ － 6	株式会社光プレカット		702-8011	岡山県岡山市南区郡2999	086-267-2121
33	Ⅳ － 12	株式会社ヤマホン		706-0001	岡山県玉野市田井3丁目20－28	0863-31-1166
33	Ⅳ － 13	山佐産業株式会社		700-0942	岡山県岡山市南区豊成3丁目15番25号	086-265-7667
33	Ⅳ － 22	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218	0867-42-1100
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
13	Ｖ － 15	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1丁目7番22号	03-5534-3711	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							7	○	○
33	Ⅵ - 17		有限会社前原建設		710-0842	岡山県倉敷市吉岡416－4	086-425-1340	○	
33	Ⅵ - 18		東建設		716-0066	岡山県高梁市松原町松岡3463	0866-26-0914		○
33	Ⅵ - 20		株式会社ニーズホーム		708-0814	岡山県津山市東一宮50－4	0868-35-3548	○	
33	Ⅵ - 21		株式会社アトリエクオーレ		710-0046	岡山県倉敷市中央1－9－4	086-435-5038		○
33	Ⅵ - 25		有限会社連島渡辺工務店		712-8015	岡山県倉敷市連島町矢柄5998－9	086-444-4803	○	
33	Ⅵ - 27		株式会社FORT		700-0977	岡山県岡山市北区問屋町9－101	086-236-9600	○	
33	Ⅵ - 28		有限会社上田建築工房		718-0011	岡山県新見市新見200	0867-72-3185	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
33	Ⅵ － 17		有限会社前原建設	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 18		東建設	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 20		株式会社ニーズホーム	30 戸	25 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 21		株式会社アトリエクオーレ	20 戸	15 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 25		有限会社連島渡辺工務店	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 27		株式会社FORT	5 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 28		有限会社上田建築工房	4 戸	3 戸	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	2 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上		○	○
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）和らぎの家・岡山	（地域型住宅供給対象地域）岡山県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）和らぎの家・岡山推進協議会	（結成年）2017 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0776-0624	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	岡山県及び隣県の認証木材及び合法木材の使用を主要構造材は50%とする。長寿命型については、震災に強い安全性の高い耐震等級3を推奨する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域林業の保全、快適な住環境の提供、次世代に安全安心な住宅を提供する為に、国内有数の国産材を活用した人にやさしい住宅の提供を進めます。耐震等級3を推奨します。省エネ、低炭素化に向けた使用住宅を推奨します。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	グループ対象地域は歴史的町並み多く、景観を乱さない住宅造りに努める。	◎
④ ①～③の背景	岡山県は瀬戸内海気候であり、冬は中国山地からの空っ風があり寒く感じられる、夏は海からの湿気があり暑く快適に過ごすための工夫が必要である。断熱性能においては一次エネルギーの消費対策の向上に努め、春夏秋冬快適に過ごす家つくりとコンセプトとします。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	対象地域材の安定供給を図りブランド力強化で、地域での知名度確保します。事務局が「和らぎの家・岡山推進協議会」をPRして、長期優良住宅及び高度省エネ住宅のPRを行います。今後は構成員を増やして地域活性化を図ります。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：国産材自給率50%を協議会の共通認識として地産地消に努め、地元材積極活用によりCO2削減に努めます。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：断熱材やその他省エネ、耐震他資材供給はグループ内で統一材料の採用で安定供給に努める。	◎
	①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：建築資材の供給については安定、安価な仕入を考慮してグループ内での資材供給を推奨している。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：当会の賛助会員（メーカー、商社）推奨材料の活用によりコストダウンに努める。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：受発注業者の合理化に努める。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：事務局が定期的にセミナーなどを実施し、商品知識の向上、生産性の向上に努める。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：各施工業者の標準仕様の図面、見積もり、プランボードを作成して施主への提示に努める。現場検査にて施工過程明確化に努める。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：建設地の地盤調査を実施し施主への報告を義務付ける。住宅瑕疵担保責任保険に加入する。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：省エネ向上はもちろん、低炭素化を推奨してはっきりとして見積もりの提示を推奨する。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅仕様のリストを作成して生産性向上に努める。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：天候に左右される面もあるが、行程管理をしっかしたうえで週休2日に努める。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：経験年数、技術に応じて処遇の改善に努める。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：現場の大小問わず、加入を推奨する。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：適切な休憩をとり、長時間労働の禁止はもちろん残業の削減に努める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		国の推進する「働き方改革」を推奨する。安全第一、働きやすい環境を作るように努める。			◎

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）和らぎの家・岡山	（地域型住宅供給対象地域）岡山県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）和らぎの家・岡山推進協議会	（結成年）2017　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0776-0624	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：第三者機関の住宅履歴サービスを活用してデータの管理と蓄積を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：JKサポートセンターが運営する快適住実の家の「住宅履歴の図書館」を推奨する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局が窓口となり、受付し登録手続きを行い、施主と工務店の情報を共有する。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：点検ｼｰﾄを活用して、30年にわたる定期的な点検を推奨する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：点検ｼｰﾄを活用して、適切なメンテナンス、補修を図る。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：点検通知サービス、代行サービスを活用する。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ内で商品研修会、現場研修会を行う。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：地元材木屋、建材問屋の展示会を活用して参加する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：地元材木や、建材問屋の展示会を活用して参加する。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	■ ない	□ ある →	内容：事務局が「住宅履歴図書館」の勉強会を実施する。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：定期的な管理をして、30年にわたる履歴管理をする。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：グループが推奨するハートシステム（完成保証制度）を施主に提案する。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：完成保証制度の勉強会を実施し、着工から引き渡しまでの安心と信頼に努める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			グループ全体の維持管理ｼｰﾄの確認をする。第三の履歴管理サービスを利用した共通管理を行い、住宅履歴情報サービスが発行する住宅履歴の預かり証の写しを事務局が確認する。			◎

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅を基本とした、資金面も含めた幅広い知識の習慣を進める。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：生産業者の研修会を積極的に行い商品知識向上に努める。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局が窓口となり、研修会を実施し案内する。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：省エネ、認定低炭素、住宅ローン等のセミナーの開催。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：グループ連携のJKサポートセンターによる長期優良住宅、住宅ローンの開催。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：各適合申請は、特別な事情がない限りJKサポートセンターを活用する。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　3		今年度の参加目標人数　3	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　3		今年度の参加目標人数　3	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：省エネ講習会を事務局から案内し参加の推進を義務付ける。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：HMEZ、太陽光発電、蓄熱電池等の関連機器の使用を推奨する。	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：グループ内での成功体験セミナーの開催を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			事務局が定期的な研修会を実施する。HEMZ、太陽光発電の推奨の勉強会を実施する。			○

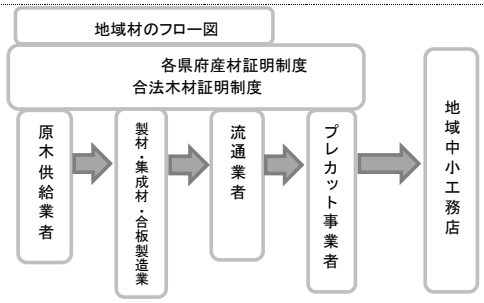
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）和らぎの家・岡山	（地域型住宅供給対象地域）岡山県
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）和らぎの家・岡山推進協議会	（結成年）2017 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0776-0624	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	当グループの共通ルールは主要構造材に県府産材木材もしくは合法木材を60%以上を確保し使用する。羽柄材にも地域材の採用の枠をひろげる（間柱、野縁など）。土台、柱は地域のヒノキ材を中心に推奨する、桁、梁は地域の杉集成材、合法木材を推奨する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：□ 使用していない　■ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	○
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　産地と市場の関係を強固なのもとして、地元の木材問屋と関係を密にしている。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　地域に関しては、事務局が介し価格に適正化を図っている。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　グループ構成員による安定して地域材を供給できる仕組みとなっている。	◎
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　岡山伝統の焼杉板仕様を施主に提案すること推奨する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　岡山県産材を使用した化粧梁、柱の推奨。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　岡山地区では歴史的な街並みが多く、景観を配慮した住宅造りに努める。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　再生可能エネルギーを活用した、次世代の環境配慮住宅の供給に努める。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　優れた地域景観の創造や保全により、美しく豊かな住まいの推進。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		地元木材問屋、建材問屋の展示会の積極的な参加により情報の収集に努める。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	該当なし。	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	該当なし。	

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）和らぎの家・岡山	（地域型住宅供給対象地域）岡山県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）和らぎの家・岡山推進協議会	（結成年）2017 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0776-0624	

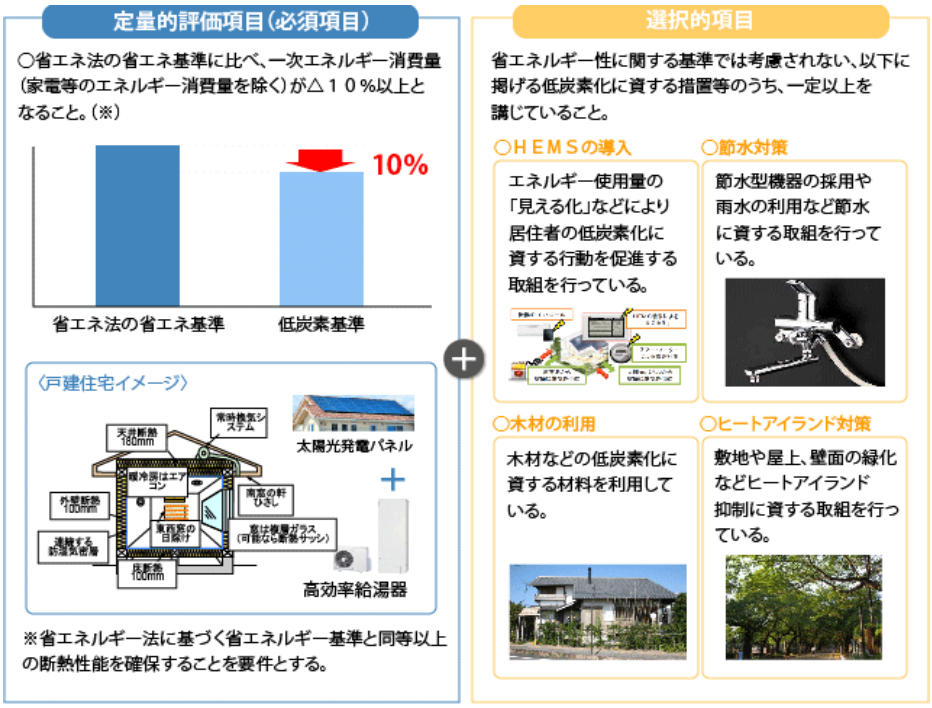
４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型

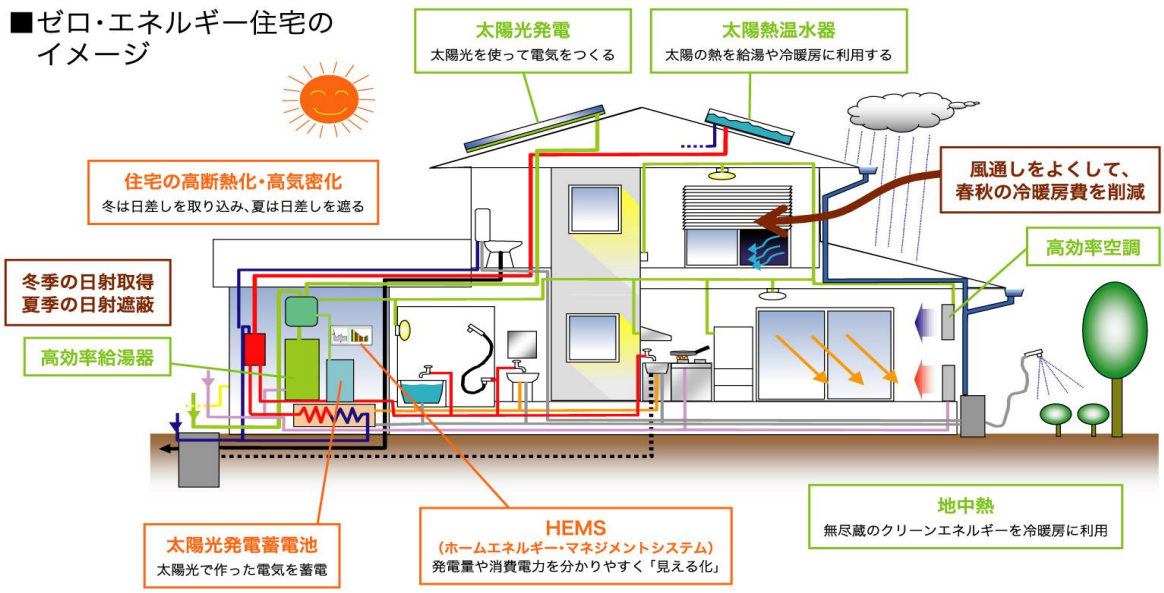
○認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅

認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅ともに
外皮性能、一次エネルギー消費量を基準よりもできるだけ高性能にすることを推奨する。



○ゼロ・エネルギー住宅

外皮性能（外皮平均熱貫流率UA値）は0.60（W/㎡・K）
エネルギー削減率（全体　R）は100%、エネルギー削減率（太陽光発電を除く　Ro）は20%
とするが、基準よりもできるだけ高性能にすることを推奨する。
また太陽光発電量、住宅設備によるエネルギー削減よりも建物躯体の基本性能を重視する。



※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。